JR四国労組新聞
JRSU

2019年
12月15日
No.6（486）

四国旅客鉄道労働組合
〒760-0021 高松市西の丸町11-9
TEL（NTT）087-851-1378
（JR）086-2597~2598
http://jrsu.jrsis.com/
発行責任者／大谷　清
編集責任者／武智 義治

年末手当交渉妥結！

JR四国・ジェイアール四国バスともに昨年を上回る回答を引き出す！

【JR四国】

昨年を大幅に上回る1．89カ月分！

本部は、「2019年度年末手当の要求（申第6号）」「準組合員（エキスパート社員）の年末一時金の要求（申第7号）」及び「準組合員（契約社員）の年末一時金の要求（申第8号）」について、11月1日の主旨説明以降、要求獲得に向けて精力的に交渉を重ねてきた。

その結果、11月22日の団体交渉において、JR四国労組の組合員の奮闘を最大限考慮した、昨年を大幅に上回る回答を引き出したと判断し妥結した。

（詳しくは「JR四国労組ニュースNo11」参照）

【ジェイアール四国バス】

昨年を上回る2．355カ月分！

本部は、「2019年度年末賞与の要求（申第9号）」及び「2019年度準組合員（契約社員）の年末賞与の要求（申第10号）」について、11月1日の主旨説明以降、要求獲得に向けて精力的に交渉を重ねてきたが、11月18日の団体交渉において、2．355ヵ月という回答を引き出した。検討した結果、これ以上の前進は困難と判断し妥結した。

（詳しくは「JR四国労組自動車支部ニュースNo5」参照）

第17回「四国の鉄道を考える国会議員連絡会」開催！

JR四国の現状と今後の課題等を意見交換！

JR四国労組は、11月19日（火）、衆議院第二議員会館において、第17回「四国の鉄道を考える国会議員連絡会」を開催した。

連絡会には加入する国会議員、JR連合・JR四国労組役員並びに会社幹部ら総勢19名が出席し、冒頭、小川衆議院議員を会長に、玉木衆議院議員を事務局長に就任いただくとともに、7月の参議院議員選挙で当選された永江参議院議員の加入も確認され議事に入った。

主催者を代表して幸副執行委員長は「昨年発生した西日本豪雨災害に伴う減収分を取り戻すべく、労使一体となって全力で取り組んでいるが豪雨災害前の水準には戻りきっていない。このような中、2020年度末には経営安定化等のための支援措置が節目を迎える。四国の鉄道ネットワークを維持するためにも支援措置延長等についての取り組みをお願いしたい」と訴えた。

続いて、JR連合の荻山会長から政策課題解決に向けた取り組みや、JR連合を取り巻く情勢等について挨拶を受けた。

その後、会社からJR四国の現状、今後の経営課題及び収入確保に向けた取り組み並びに四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱでの中間整理（案）等について説明を受けた後、出席者による活発な意見交換が行われた。

「JR二島・貨物経営自立実現PT」発足

JR発足32年が経過し、JR二島（北海道・四国）・貨物の三社はさまざまな経営努力を積み重ねてきたが、依然として株式上場・完全民営化への道筋が立っていない。JR二島・貨物が将来にわたり社会的使命を果たし続けられる持続可能な交通体系（人流・物流）を構築し、経営自立を果たすべく、2021年度以降の支援措置の実施をはじめとした経営課題を解決していく必要がある。

11月20日に開催した「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」第15回総会において、泉健太衆議院議員、小川淳也衆議院議員、広田一衆議院議員を中心として「JR二島・貨物経営自立実現PT」を発足し、当該課題を進めるための政策提言をとりまとめていくことが決議された。

今後、同PTの取り組みにおいて、JR二島・貨物の経営自立実現にむけた骨太の議論を展開していく。

国土交通副大臣への要請行動を実施！

11月21日（木）、JR連合は、2020年度税制改正要望に加えて、自然災害による鉄道被災からの復旧・復興、防災・減災への支援等にむけて、各単組の代表者、並びにJR連合国会議員懇談会の榛葉会長、泉副会長、小川事務局長らとともに、御法川信英国土交通副大臣への要請行動を実施した。

要請にあたり榛葉会長は、「JR北海道、JR四国、JR貨物については、未だ経営自立の見通しが立っていない。税制支援が引き続き必要である。また、近年相次ぐ自然災害による鉄道被災の多くは鉄道用地外からの土砂や河川氾濫によって拡大している。その復旧は他のインフラと違い、鉄道事業者自らの資力で行わなければならない」と訴えた。

続いて、JR連合の荻山会長からは、JR貨物関連項目を中心に税制支援措置の延長とともに恒久化を求めつつ、「税制に加えて、多くの支援措置を講じていただいている。しかし、2020年度には大きな助成策が終了し、2021年度からの次なる支援にむけた法改正を伴う議論が俎上に上がる。この段において単に弥縫策ではない、将来の経営自立への道筋を描く議論を求めたい。JR連合としても様々な観点から政策提言を発するので、ご検討いただきたい」と訴えた。加えて、国土交通省が鉄道用地外からの災害対応に関する検討会を立ち上げたことに触れ、「林野庁とも連携した事前防災等の取り組みは、現場からの切実な意見であり、JR連合の提起を受け止めていただいた」と感謝を述べ、今後の議論展開に期待を示した。

さらに、JR四国労組から参加した森安副執行委員長は、税制支援について要望するとともに、四国における新幹線を骨格とした持続可能な交通体系の構築にむけた協力について要請した。

これらの要請に対し御法川副大臣からは、税制改正要望の実現に取り組んでいることに加え、自然災害の事前防災、貨物鉄道モーダルシフトの必要性、将来の自立経営を前提とした支援のあり方について、JR連合からの主張を踏まえつつ、検討を進めていく旨の姿勢が示された。

分会大会」順次開催!!

各支部では、定期大会の終了を受け、順次分会大会が開催されています。

JR四国労組には40の分会がありますが、12月10日時点で39の分会で大会が終了しました。各分会大会では、分会執行部から2018年度の一般経過報告、決算報告、会計監査報告が行われ、その後、2019年度活動方針（案）と予算（案）が提起され、各職場から集まった代議員から質疑が行われました。質疑では、「安全・安定・安心輸送の確立」「組織の強化・拡大」「職場環境の改善」「政策課題解決」「政治・共闘」等を中心に意見が出され、執行部からの答弁の後、全体の拍手を持って採択されました。最後に分会長による団結ガンバローで締めくくり、終了します。

分会は組合運動の原点です。組合員同士のコミュニケーションを図り、より良い職場づくりに取り組むよう世話役活動のさらなる充実を要請します。

第5回本部執行委員会開催

11月29日（金）16時25分より「第5回本部執行委員会」が開催された。

経過報告と議事については次のとおり。

【経過報告】

（組織）
・組織の強化拡大

（経協）
・中間決算（JR四国・ジェイアール四国バス）
・駅業務体制の見直しについて

（団交）
・2019年度の年末手当・年末賞与（JR四国・ジェイアール四国バス）
・高知インター南バスプラザの廃止について

（青女）
・支部青女定期委員会（自動車）

（政治）
・四国の鉄道を考える国会議員連絡会

（共闘）
・四国交運労協定期総会
（JR連合）
・産業政策委員会
・労働政策委員会
・組織財政検討委員会
・地方議員団連絡会総会
・「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」総会

【議事】

①2019年度の年末手当・年末賞与の妥結承認について

②「駅における業務体制の見直し」に関する付議事項について

③ダイヤ改正実施に伴う経営協議会の付議事項について

④高徳線「大坂山トンネル内での鋼板の一部落下」について

⑤JR四国労組「新春セミナー」の開催について

⑥JR四国労組「新春交歓会」の開催について
・出席者・招待者について
・特別功労者表彰について

⑦JR四国労組「第33回定期本部委員会」の開催について
・招集について
・特別本部委員、傍聴者及び会場係の取り扱いについて
・活動方針骨子（案）について

⑧レディースミーティングの開催について

⑨ユニオンスクール「リーダーコース」の開催について

⑩当面するスケジュールについて

⑪その他
・JR連合第32回中央委員会の開催について
・分会大会の開催日程について
・次期（第6回）執行委員会の開催について
・その他

四国交運労協第31回定期総会開催

11月28日（木）愛媛県松山市「愛媛県勤労会館ピュアフル松山」において、「四国交運労協第31回定期総会」が開催された。

四国交運労協を代表して井上議長は、一年間の取り組みと四交運への協力に対するお礼、台風19号をはじめとする自然災害により犠牲になられた方へ哀悼の意を述べた後、政治情勢、2020春闘への取り組み、交通運輸産業における労働力不足等に対し問題提起を行った。

また、来賓として参加いただいた中央交運労協の慶島事務局次長は、安全・安心な交通運輸産業の確立、持続可能な地域公共交通の確立、参院選をはじめ政治との関わりについて、自然災害からの復旧に対する対応等について問題を提起し議論を促した。

その後、事務局より、2018年度活動経過及び決算報告・会計監査報告、2019年度活動方針（案）予算（案）の提案を受け議論の後、議事は満場一致で採択された。

また、2019年度役員選出では、嶋田書記長が事務局長、森安副執行委員長が幹事にそれぞれ再任されたほか、新たに武智執行委員が事務局次長、杉本執行委員が幹事に選出された。

オイスカ四国支部「山・林・SUN体験」活動に参加

11月10日（日）、香川県まんのう町において、公益財団法人オイスカ四国支部が主催する「山・林・SUN体験」が開催され、JR四国労組組合員も参加しました。

この活動は2010年から実施されており、松枯れなどにより荒廃した「尾の瀬山」にヤマザクラを植林し、下草刈りなどによる手入れを計画的に実施しています。

当日は絶好の秋晴れとなり、参加者は山の斜面に植えたヤマザクラが順調に育つように周りに生えた下草を鎌で刈り取りました。

活動の後にはスタッフの方々から温かい天ぷらうどんとおにぎりを振る舞っていただき、舌鼓を打ちながら談笑し、無事に活動を終えることができました。

第8回ドッジボール大会開催！「徳島支部チーム」が優勝!!

12月8日（日）香川県高松市「高松市西部運動センター体育館」において、本部主催「第8回ドッジボール大会」が開催されました。

大会は、四国各地より9チーム124名の組合員が参加し、3チームごとの予選リーグからスタートしました。試合では、各チームともに優勝を目指して戦術を練り真剣勝負が繰り広げられ、プレーする者と応援する者が一体となって大いに盛り上がりました。

決勝戦では、「徳島支部チーム」と「愛媛支部チーム」との闘いとなり、熱戦の末「徳島支部チーム」が第1回大会以来7年ぶり2回目の優勝を勝ち取りました。

なお、成績は次のとおりです。

○優勝　徳島支部チーム
○準優勝　愛媛支部チーム
○3位　自動車支部チーム
○4位　本社支部チーム

レク・サークルだより

愛媛支部

私たち愛媛保線分会は、8月3日からの2日間、恒例の夏季レクレーションを八幡浜市保内町『夢泳海水浴場』にて開催し、両日ともに絶好の海水浴・BBQ・キャンプ日和に恵まれ、県内各地から総勢30名の組合員とその家族が参加しました。昨年は西日本豪雨で開催することができなかったため、昨年の分まで疲れを癒すとともに、組合員同士の交流を深めることができました。

愛媛保線分会では、今後も組合員の親睦と団結強化を図るため、さまざまな活動に積極的に取り組んでいきます。

愛媛保線分会
兵藤　道清

「第33回定期本部委員会」の開催について

1　日時　2020年2月7日（金）
　　13時より17時まで
2　場所　「ホテルアネシス瀬戸大橋」
3　議題　(1)定期大会以降の経過について
　　(2)2020春季生活闘争方針をはじめとする当面の活動方針（案）
　　(3)その他

2020年「新春セミナー」及び「新春交歓会」の開催について

1　日時　2020年1月11日（土）11時より
2　場所　「ホテルアネシス瀬戸大橋」
3　内容
　「新春セミナー」　11:00　～　12:30
　「新春交歓会」　13:00　～　15:30